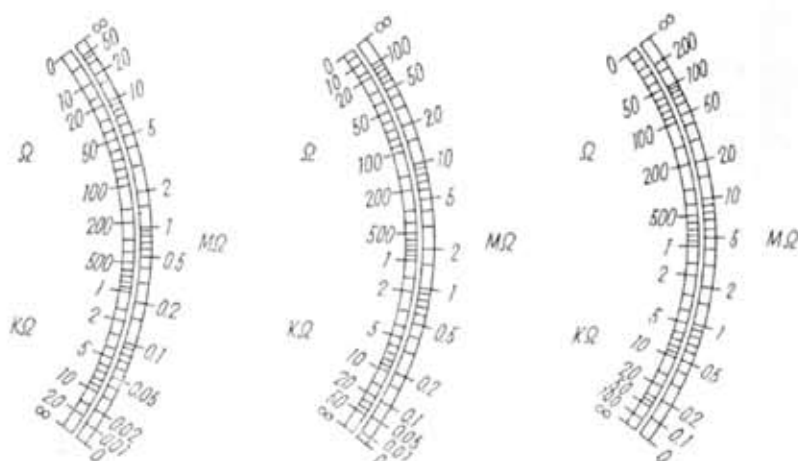


250V 50M $\Omega$   
0 ~ 20K $\Omega$ 500V 100M $\Omega$   
0 ~ 50K $\Omega$ 1000V 200M $\Omega$   
0 ~ 100K $\Omega$ 

第14図 E<sub>17</sub>型二重目盛り日立メガーの種類  
Fig. 14. Ranges of Type E<sub>17</sub> Double Scale Insulation Tester

絶縁抵抗測定:— EARTH, LINE 端子使用 (GUARD 端子の使用法は一般の絶縁抵抗計と同じ) 切換スイッチを“M $\Omega$ ”側にする。

導体抵抗測定:— LINE, GUARD 端子使用, 切換スイッチを“ $\Omega$ , k $\Omega$ ”側にする。

### 新機構採用 VC30 型小型自動四輪車用気化器 完成

VC 30 Carburetters for Small Sized  
4-Wheeled Cars

日産自動車株式会社ニッサンジュニア B40トラック (オースチン国産化エンジン搭載 1,750kg 積) 用 VC30 型気化器は、このほど日立製作所多賀工場で完成、納入し、業界の注目の的となつている。

本器は小型自動車用として新設計、完成されたもので下向通風型、主気化装置、低速気化装置、始動装置、加速装置、および本器特有の燃料附加装置をそなえており、各使用状態に応じ、これらの装置が連動し、常に適当なる濃度の混合気をつくるようになってい

#### 特長

- (1) 特殊メーンエアーブリードシステムの採用により二重作用が行われ、燃料の微粒化、高速における燃料供給が十分なるため所要の出力、運転性が良好である。
- (2) ピストン式加速ポンプの使用により急激な加速に耐え出力運転時に濃度の混合気を供給し、パワージェット装置を作動せしめる。



第15図 VC30 型 気化器  
小型自動四輪車用  
Fig. 15. Type VC30 Carburetter

- (3) 始動はスロットルバルブ連動のボベットバルブ式により非常に容易である。
- (4) ニードルバルブはスプリング付とし動揺によるオーバーフローを防止する。

#### 主なる仕様

V C 30 型

セッティング	
ベンチュリ	25mm × 9mm
メーン・ジェット	№ 100
メーン・エアー・ブリード	№ 130
補助エアー・ブリード	№ 90
スロー・ジェット	№ 55
スロー・エアー・ブリード	№ 160
パワー・ジェット	№ 60
補用メーン・ジェット	
全高	144mm
口径	30mm
取付ピッチ	60mm
重量	1.3kg

### 日立小型5球2バンド・オールウェーブ 売出す

Hitachi Small Type 5-Valve 2-Band All  
Wave Radio on Sale

日立製作所ではこの程非常に新しい感覚のプラスチックキャビを採用した、短波放送も聴ける小型5球2バンド・オールウェーブ「H-501型」を発表した。

日立のオールウェーブ発売は今回が初めてであるが、本機には中間周波増幅管に高性能日立真空管 12BA6 を採用した新しい設計で、従来の 12BD6 を使用したものより一層高感度となり、特に短波帯におけるイメージレシオがぐつと改善されている。また短波帯の受信範囲は 3.9 Mc から 12 Mc と放送局をもつとも多く受信できる

日立 ニ ュ ー ス



第16図 日立小型5球2バンド・オールウェーブ  
Fig. 16. Hitachi Small Type 5-Valve 2-Band All Wave Radio

範囲をカバーしており日本短波放送の3局が全部受信できるので、音質のよいスピーカー、イヤホン切換装置と相俟つて小型ながらオールウェーブとして必要な高度

の性能を備えている。キャビネットは丈夫な高級プラスチック(ポリスチロール)製で淡ねずみ色と白青色の2種類が用意されている。

規 格

回路方式.....	5球スーパーヘテロダイン方式
受信周波数帯.....	BC(標準放送) 535~1,605 kc
	SW(短 波) 3.9~12 Mc
中間周波数.....	455 kc
使用真空管...	12BE6, 12BA6, 12AV6, 35C5, 35W4
感 度.....	極微電界級
電氣的出力.....	1 W
使用電 源.....	100V 50/60~
消費電力.....	23 VA
スピーカー.....	HS-40型 4吋パーマネント ダイナミックスピーカー
アンテナ.....	長さ 2 m 室内アンテナ付属
寸 法.....	幅 278 mm 高さ 163 mm 奥行 108 mm
重 量.....	2.1 kg



編集後記

干拓は戦後の新しい国づくりとして国家的役割を担っているが、千葉県西北端、利根川に沿う位置にある手賀沼の干拓は、その中でも特に規模の大きいものの一つであろう。したがってこの干拓には、口径 1,700mm という我国最大の斜流ポンプが6台据付けられて注目を浴びている。しかしこのポンプが衆目を集めているのは、単に口径が日本最大であるというだけではない。

手賀沼の干拓は、雨期における利根川の水位が8m前後まで上昇するので、水位差0ないし10mの変化に対して、能率的かつ経済的に応じうるポンプが必要とされる。そこでこの6台のポンプは、中水位以下の場合には1台ずつの並列運転、高水位時には2台ずつ3組の直列運転を行うことによつて、この厄介な条件を克服した。しかしこのためには、この二種類の運転を水位の変化に即応して切換えうるすぐれた制御装置が必要とされたのであつた。

ポンプ自体が勝れた性能を要求されることはいうまでもないが、ポンプの働きを十二分に発揮させるために、ポンプと渾然一体となつて活動するすぐれた制御装置を要求されるような仕事は、機械部分と電気部分を同一社で製作しうる日立製作所のごとき総合企業にしてはじめてなしうる偉業であろう。本号に掲げた「手賀沼干拓用大型排水機設備」および「手賀沼排水機場の制御装置」は、そういう点においても十分注目に値する論文である。

一言には鈍物界の長老飯高博士の玉稿を頂くことができた。科学技術の進歩のためには、いかに不断の研究が大切であるかを訴えられると共に、我国の研究組織のあり方について述べられた博士の含蓄ある一文には、深く教えられるところがある。

<p>日立評論 第38巻 第12号</p> <p>昭和31年12月20日印刷 昭和31年12月25日発行</p> <p>(毎月1回25日発行)</p> <p>&lt; 禁無断転載 &gt;</p> <p>特価 1部 100円 (送料12円)</p> <p>© 1956 by Hitachi Hyoronsha</p>	<p>編集兼発行人 鈴木 万 吉</p> <p>印刷人 本 間 博</p> <p>印刷所 株式会社日立印刷所</p> <p>発 行 所 日立評論社</p> <p>東京都千代田区丸ノ内1丁目4番地</p> <p>電話 千代田 (27) 0111, 0211, 0311 1111, 1211, 1311</p> <p>振替口座 東京 71824番</p>
---	--

広告取扱店 和 堂 東京都中央区新富町2丁目16番地 電話 築地 (55) 9028 番